



# 安全と 安心の取組

Safety and Security

## 1. 安全対策

### 1000系車両とATC、ATO装置

多摩都市モノレールでは1000系車両を採用しており、各車輪にゴムタイヤを用いた跨座式ボギー台車を使用しています。全電動車の4両固定編成となっており、車両性能面では、VVVF インバータ制御装置が使用され、電力回生を行い、省エネルギー化が図られています。車両構造は、居住性の高いものとなっております。

開業時より列車の安全運行の基本となるATC装置を搭載し、車内信号方式によるワンマン運転を行っております。さらに安全性向上のためATO装置も導入し、安全の確保に万全を期しております。



#### ATC装置(自動列車制御装置)

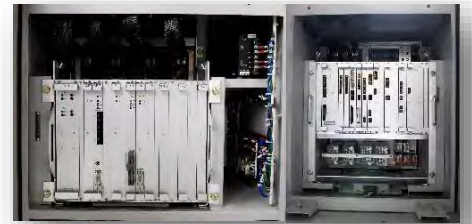
前方の列車との間隔に応じた制限速度や、あらかじめ定められた速度に応じた速度信号を地上側から与え車上装置で受信し、制限速度を超えた場合に自動的にブレーキがかかり、制限速度以下に列車を制御する装置です。



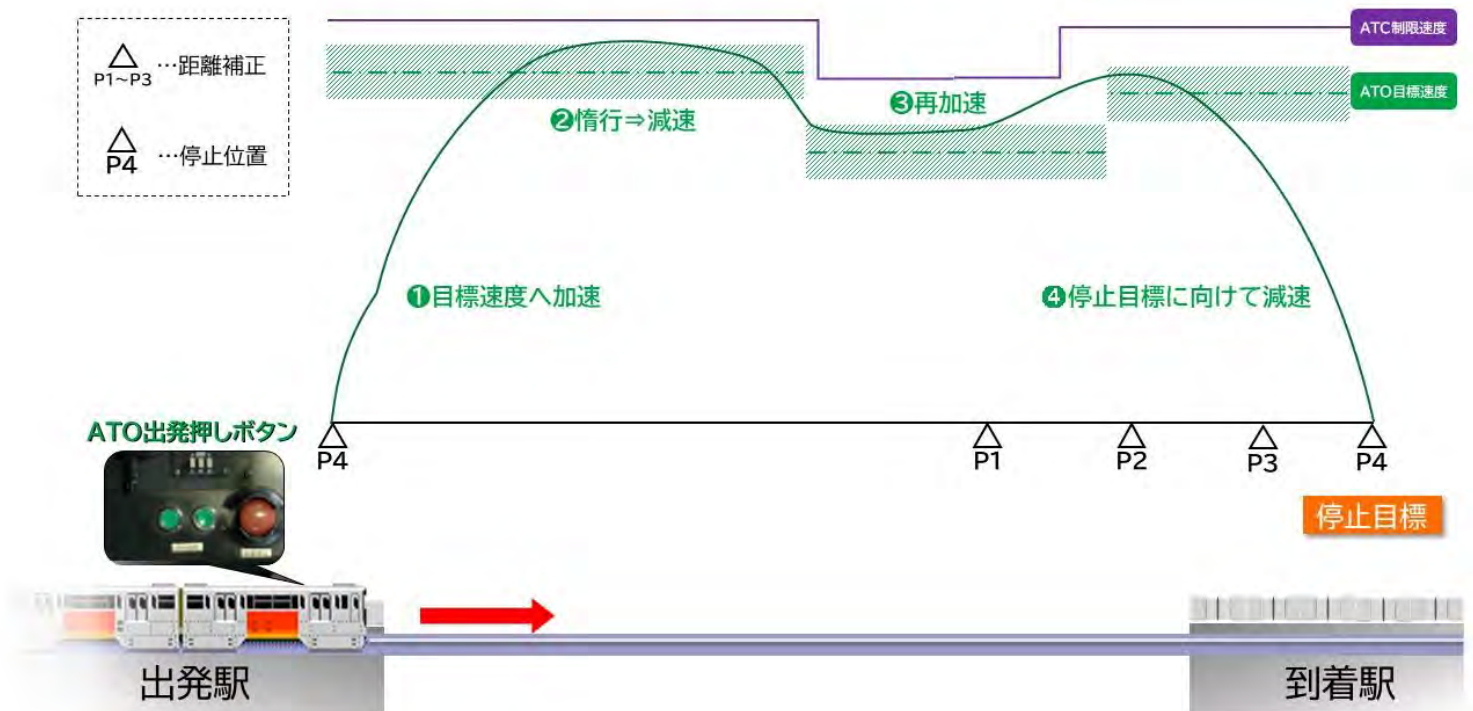
## ATO 装置(自動列車運転装置)

駅間の自動運転を行う装置で、駅出発の加速制御、駅間での一定速度制御、駅所定位置へ自動的に減速・停止する駅停止制御を行います。また、車上と地上側との情報伝送・データ通信を行い、可動式安全柵の連動制御も行います。

お客様の安全確保と乗務員の運転支援を行う装置です。



### ATO運転による列車走行の例



列車が出発駅において、運転条件がそろった状態で運転台の出発押しボタンを操作すると、ATC 制限速度内で設定された ATO 目標速度に向けて、加速、惰行、減速制御により、到着駅の停止目標まで効果的な自動運転を行います。